

羽田イノベーションシティにおける区施策活用スペースについて (現状報告)

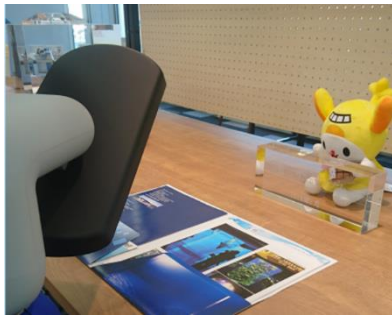
区施策活用スペース「HANEDA×PiO (ハネダピオ)」の現状等について、以下のとおり報告する。

1 交流空間について (連携イベント等の開催)

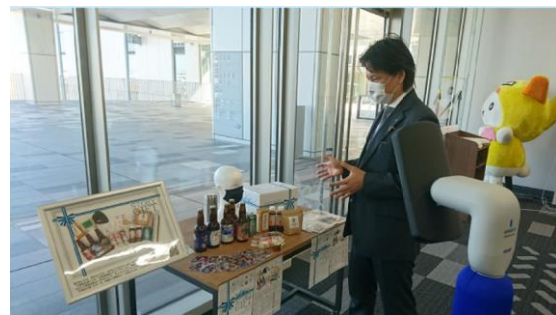
・前回報告からこの間の取り組み

緊急事態宣言下であっても、可能な情報発信等を行っている。

一例として、2月3日(水)に遠隔操作ロボットを活用して区内産業PRの実証実験を実施した。



(遠隔でも移動、ズーム機能で閲覧可能)



(同左。コンシェルジュ機能を合わせて効果UP)

遠隔地であってもロボットの画面越しでも十分に展示製品等の紹介が可能なが確認できた一方で、操作者側の通信環境によっては製品や説明資料の閲覧が円滑にできないことがあることも確認できた。

・今後の予定

昨年11月に協定を締結した「都立産業技術研究センター」による、さまざまなタイプのロボットを展示、体験できる催しを開催予定。

期間は、3月18日(木)～20日(土)を予定。規模や開催方法等は緊急事態宣言等の状況等を踏まえて確定していく。

このほか、外部機関が実施する取り組みのうち、HANEDA×PiOのPRに資する内容や今後の連携可能性が見込めるものについても、感染症対策の中で積極的に対応していく

2 テナントゾーンについて (全17区画)

・新たな入居予定企業が確定 (1事業者2区画)

(2月末現在での確定数 6事業者10区画)

・大田まちづくり公社HPにて紹介 (3月4日に更新予定)